

地域 防災

2025-2
FEB.

No. 60



一般財団法人 日本防火・防災協会



この情報誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。



目次

地域防災力のさらなる向上に向けて (総務大臣 村上 誠一郎) 1

グラビア 1.17のつどい—阪神・淡路大震災30年追悼式典—
地域防災への決意を新たに—各地の消防出初式—/文化財防火デーにおける消防演習/ ... 2
世界の災害 (フィリピン/フランス領マヨット島/バヌアツ/中国/アメリカ合衆国)

論説 はじめて発表された南海トラフ地震臨時情報 4
(一般社団法人防災教育普及協会会長・東京大学名誉教授 平田 直)

令和6年能登半島地震を踏まえた港湾の防災・減災対策のあり方 8
(国土交通省 港湾局 海岸・防災課)

Connecting the dots 災害対応の積み重ねから これからの応急仮設住宅を考える 12
(熊本県土木部建築住宅局長 小路永 守)

「地域総参加の防災力向上大会」の開催 16
(公益財団法人 日本消防協会)

● 阪神・淡路大震災 (その1) ●

阪神・淡路大震災30年と地域防災の進化 18
(神戸大学名誉教授・兵庫県立大学名誉教授 室崎 益輝)

阪神・淡路大震災の教訓と地域防災の強化 22
(東京大学教授 廣井 悠)

北 地元の建設産業が地域防災の力になります 26
(東京都世田谷区建設団体防災協議会 会長 石井 誠)

から 地域の資源と特性を活かした都区内の防災訓練 28
(東京都板橋区加賀五四自治会 会長 竹澤 喜孝)

南 震災等の自然災害に備えた高校生と3町会の地域住民による共同避難訓練 30
(石川県立羽咋工業高等学校 教諭 中出 公平)

から 地域防災の担い手を育む～ふるさとの自然と先人の業績を防災教育に生かす～ 32
(福井県小浜市立今富小学校 教諭 正木 啓敬)

連載 過去の災害を振り返る 第29回

阪神・淡路大震災の回想と未来への伝承 34
(神戸市公園緑化協会理事長 鍵本 敦 (前神戸市消防局長))

● 地域防災力の強化に取り組む団体コーナー ●

横須賀市浦郷町防火・防災クラブ/宇部市西岐波地区自主防災会 38

有田市ぶっとく幼稚園幼年消防クラブ/川崎市幸地区少年消防クラブ 39

今、備えよう。大規模地震時における電気火災対策 (総務省消防庁) 40

○編集後記/ 41



【表紙写真】

日本では昨年12月から今年の1月にかけて、一部の地域を除き好天が続き空気が乾燥したことで、例年より住宅火災や山火事が多く発生しておりますが、海外も同様で中でも、アメリカ合衆国の西海岸も同様に乾燥状況が続き、ロサンゼルス近郊で山火事が発生し、広域な地域が廃墟となり、何万人もの住民が避難を余儀なくされました。写真は、その山火事の様子です。

情報提供のお願い

皆様の地域防災活動への取組、ご意見などをともに、より充実した内容の総合情報誌にしていきたいと考えております。皆様からの情報やご意見等をお待ちしております。

■ TEL 03(6280)6904 ■ FAX 03(6205)7851

■ E-mail chiiki-bousai@n-bouka.or.jp



【編集後記】「感震ブレーカーに関心を」

地震で発生した火災の原因として電気機器からの出火や停電が復旧した時の出火があげられる。その予防に効果的なのが地震を感知すると自動的にブレーカーを落とし電気を止める感震ブレーカーで、設置に補助金を出している自治体もあるが普及は進んでいないという。感震ブレーカーには分電盤に取り付けるものやコンセントに差し込むものなどいくつかタイプがあり工事の必要性や費用にも差がある。住宅の新築やリフォームの時は、住宅メーカーや建築会社が推奨して工事に合わせて設置できるが既存住宅への取り付けを進めるためには事業者と自治体・消防署、地域の防災団体など関係者の役割分担の整理と活動に要する費用の確保が必要となろう。国では地域の実情に合った普及推進のモデル計画を策定するとしているが、まずは啓発活動を強力に進め、電気火災の危険性と感震ブレーカーについて国民の認知度を高めることが不可欠だ。

地域防災に関する総合情報誌 **地域防災** 2025年2月号（通巻60号）

- 発行日 令和7年2月15日
- 発行所 一般財団法人日本防火・防災協会
- 編集発行人 高尾 和彦
- 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番16号（日本消防会館内）
- TEL 03 (6280) 6904 FAX 03 (6205) 7851
- URL <https://www.n-bouka.or.jp>
- 編集協力 近代消防社



一輪車



宝くじ桜



子宮がん検診車



宝くじは、みんなの暮らしに 役立っています。



救急普及啓発広報車



宝くじドリームジャンボ絵本



集会用テント



「健康手帳」(冊子)



ベンチ



リスザル展示施設

宝くじは、少子高齢化対策、災害対策、公園整備、
教育及び社会福祉施設の建設改修などに使われています。

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
<https://jla-takarakuji.or.jp/>

